助成·寄付寄贈報告

◆ 「静岡新聞·静岡放送文化福祉事業団 愛の都市訪問」様 助成 車両1台

厚く御礼を申し上げます

研修会・講演会のご案内

◆ 定期研修会「Be サポ事例研究会」

研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行っています。 参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考え ていきたいと思います。

日時:原則、毎月第3水曜日18:30~21:00 場所:プラサヴェルデ沼津

参加費: Be サポ会員無料、非会員 1,000 円/1 回

参加資格:心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。 初めて参加される方はBe サポートまでご連絡ください。

今後の予定:6/17、7/15、8/19、9/16、10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17

※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント(定例型)の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業

カウンセリング、プレイセラピー、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力

ひきこもり支援センター居場所設置運営事業 : 沼津「なごみ」 / 伊豆市「とっこ」(県委託事業) 母子保健事業(乳幼児健診·発達相談·療育教室) : 伊豆市・伊豆の国市・清水町

教育委員会(就学支援・特別支援教育・巡回相談)

: 函南町・清水町・伊豆市

市民メンタルヘルス相談: 伊東市・富士市 県および市町主催ゲートキーパー養成事業

県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー

NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター 社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

企業・事業所への支援事業

メンタルヘルスカウンセリング 企業研修会への講師派遣

研修 · 啓発事業

専門職対象の定期研修会開催 一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業

障害児・者総合サポートセンターみつばち: 沼津市 児童発達支援「あんず」 放課後等デイサービス「かりん」 保育所等訪問支援

放課後等デイサービス「みかん」: 伊豆市

相談支援事業

指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び~さぽーと」

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有 志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 50 名、賛助会員3名(2020.5月時点)で活動しております。

私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費 が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登 録をいただける方はBeサポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

20-バー道信

2020年5月26日発行 Vol.23

■ NPO 法人 臨床心理オフィス **₹Be**サポート

〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201 Tel/Fax 055-925-1701 Mail be-sapo@mail.wbs.ne.jp HP http://be2011.jimdo.com/ 発行責任者 皆川行寛

法人設立 10 年目を迎えて

Be サポート理事長 皆川行寛

地域の精神保健・福祉・教育に対して、タイムリーに地域のニーズを把握し、臨床心理 士としての専門的知識を地域貢献に役立てたい。有志数名が、その思いを原動力に当法人 の設立に向け動き出したのが2011年になってすぐのことでした。

振り返りますと、発足当初は手弁当で、数か月してようやく交通費を支払えるような状 態からの開所でした。現在は、おかげさまで開設当初と比べ、事業規模は約 10 倍、職員 数は約4倍になりました。職員が安心して働けるよう社会保障も整備し、継続して運営す るための体制づくりにも、理事長として努めてまいりました。

そして2020年5月24日から法人設立10年目に入ります。法人の事業の3本柱は、

- 1. 相談・カウンセリング・心理検査事業
- 2 発達障害支援事業
 - 一 静岡県指定発達障害児通所支援事業所「みつばち」を開設
- 3. 不登校・ひきこもり支援事業
 - 一 静岡県居場所設置運営事業として伊豆市に「とっこ」を委託開設
 - 一 独自事業として沼津市に「なごみ」を開設

です。この3本を軸に、今後も事業を発展・展開していきたいと考えています。

今後は、障害者相談支援事業所・障害児相談支援事業所「び~さぽーと」をより充実させていきたいと思っています。そのた めにも、職員を相談支援専門員の研修に参加できるよう調整していきます。また、新型コロナウイルス対策のために、対面式で はない LINE を用いたカウンセリングを試行的に開始することを検討しています。

ここ数年準備を重ねていた、伊豆市への放課後等デイサービスの開所も、本年度には実現する方向に向かっています。保護者 や子どもたちが、安心して楽しく通える施設を目指します。このクローバー通信が皆さんのお手元に届くころには、具体的な開 所日が決まっているのではないかと思います。

最後に、法人の理念に沿って、共に活動をしてきた会員の皆様、職員一同に対し感謝を伝えたいと思います。本当にありがと うございます。また、市民の皆様、静岡県をはじめ自治体の皆様、病院・開業医の先生方、また各教育委員会・学校の先生方に も心より感謝し、御礼申し上げます。今後も、協働させていただけたら幸いと思います。

放課後等デイサービス「みかん」 設立の準備を進めています!



伊豆市の乳幼児健診や療育教室・発達相談、教育委員会から依頼された巡回相談など、設立当初より 伊豆市の子供に関する事業に当法人として協力をしてまいりました。 令和2年度からは、伊豆市の児童 発達支援センター「おひさま」にも設立準備段階から関わらせていただいています。そんな中、就学し た子供たちの利用できる社会資源「放課後等デイサービス」が市内に皆無という現状を憂慮しており、 伊豆市にも設立したいと準備を続けておりました。

現実化に向け、3月中旬に物件の契約を行い、人材の確保、物件のリ フォームなどを進めつつ、4月30日に指定申請書類を県庁に提出する ことができました。指定が確定するのは、5月中旬以降ですが、早く開 所できるよう努めていきたいと思います。

伊豆市の放課後等デイサービスの愛称は「みかん」です。「あんず」 「かりん」に引き続き、果実の名前で統一しました。たくさん日に当た り、ピカピカと輝くみかんのように、通う子供たちが健やかに自分らし く成長できる療育の場にしたいと思っております。



活動報告

第9回 Beサポート総会



今年度の第9回定期総会は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、会員の皆様による書面表決という形で執り行いました。第1号議案「令和元年度事業報告」第2号議案「令和元年度活動計算書報告および監査報告」第3号議案「令和2年度事業計画」第4号議案「令和2年度活動予算書」についての資料を正会員の皆様にお送りし、書面表決書をご返送いただきました。その結果、全ての議案について、賛成が過半数を超え、可決されましたことをご報告いたします。

令和元年度は、福利厚生の充実と放課後デイサービス「みかん」(伊豆市)の事業展開の準備のために、初めての減益となりました。今年度は、新型コロナウィルス感染症の影響による収入減も見込まれ、引き続き減益となる予算計画となっています。

「みかん」の事業は非常に厳しい中でのスタートとなり、必要な備品等も十分な準備が整いません。書棚、カラーボックス、おもちゃ、絵本など、皆様からの温かなご寄付をお待ちしております。

障害児・者総合サポートセンター「みつばち」 開設7年目を迎えて

みつばち設立初年度に、小学校 1 年生として放課後等デイサービス「かりん」の利用を開始した子供たちが、中学生になりました。初年度から成長を見守らせていただいた子供たちの小学校卒業は、スタッフ一同にとっても感慨深いものでした。

「かりん」は、県からの指定を受けて 6 年が経過しました。指定更新の期限でもあるため、更新手続きを行い、継続して認可を受けることができました。令和2年8月31日には、児童発達支援「あんず」、保育所等訪問支援も6年が経過するため、順次指定更新の申請を行っていく予定です。

本年度、昨年から続く新型コロナウイルスの影響で、事業所の開所の在り方を思い悩む日々でした。利用者様の各ご家庭の状況や感染症予防にも配慮し、可能な範囲で 3 密を避け、検温・手洗い・マスクなどの予防策を取りながら継続開所しております。利用者様からは、「子どもが、みつばちに来るのを楽しみにしています。」「みつばちから帰ってくると、沢山お話をしてくれます。」などの声が聞かれ、スタッフの励みになっています。

今後も国や市など公共のホームページから情報収集しな がら、継続開所していきたいと思います。

「みつばち」に もう一台車をいただきました



障害児・者総合サポートセンターみつばちに、もう1台、「静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団 愛の都市訪問」の助成で、軽自動車タントをいただくことができました。

年末にすでに中古車1台の助成を頂いていたものの、その他のスタッフおさがりの車がかなり走行に不安が出ており、新しい車の導入をスタッフ一同心待ちにしていました。今回助成していただいた車は、ナビゲーションやバックモニターも装備された新車で、子どもたちを安心して送迎できるとスタッフ一同大変感謝しております。末永く大切に使わせて頂きます。

今年度開設予定の伊豆市での放課後等デイサービス「みかん」では子どもたちの送迎範囲はかなり広くなることが 予想され、さらに数台の車の助成申請を予定しています。



新型コロナウィルス感染症予防対策として、Be サポートでは、手すりやテーブルなどの消毒、スタッフのマスク着用、手指の消毒用アルコールジェルの設置を徹底しております。東日本大震災避難者のサポートをしている関係で当時ご寄付頂いたアルコールジェルが、今になって大変重宝しております。

そんなある日、Be サポートの相談室に、こんなかわいいお客さまが来てくれました。 3 密防止のために開け放してあるドアから入り、スタッフのいる事務スペースにひょっ こり顔を出したあと、廊下を抜け、相談室のテーブルでしばらく羽を休めて帰りました。 コロナ疲れのスタッフの心が、小鳥さんに癒されました。

活動報告

県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業「なごみし

令和2年に入り、「なごみ」では各利用者さんに今年の 抱負を書いてもらいました。「学」「いろいろなところと つながること」「自分に負けない」など皆さんそれぞれの 目的や希望を持っていることがうかがえました。利用者さ んの気持ちに寄り添いたいと思いました。

2 月終わりに新型コロナウィルス感染の影響が懸念されましたが、続けて利用したいという利用者さんの意見があり、活動を行っていました。3 月最後には進路が決まった利用者さんがいたことや、年度の区切りということもあり、お別れ会を行いました。

さて、平成 29 年より静岡県の委託を受けて行ってきましたひきこもり居場所事業「なごみ」は、今年度は当法人の独自事業「なごみ」として行います。それに伴い、利用時間を 12:00~15:00 に変更しました。また、活動保険料として1回 100 円いただきます。活動内容は今まで通りですが、県の機能下ではなくなったので、年齢問わずどなたでも利用参加いただけます。また、活動時間内のご相談や見学も随時受け付けます。



伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート「とっこ」



写真:目の前の狩野川沿いの桜並木をお散歩

昨年1年間、利用登録者は少なかったですが、中学生3年生2人が週1回ほぼ休みなく利用し、比較的活発に活動できました。その2人は、参加当初はどちらも登校や進学への意欲が非常に低かったのですが、居場所での活動を通じてだんだんと前向きになり、この4月無事、希望の高校に入学できました。そのうちのひとりが、卒業の際に感想を書いてくれました。

「とっこに来た当日、自分は心の中でおびえてました。めいわくをかけたくなくて、かくそうとしていたきがします。最初は駅そばを目的として行きました。初めて一人で来た時、しいたけそばを食べ、そのあと道を迷ったのはわすれません。それをきに晴れの時は毎週行き、いつのまにか晴れ男伝説みたいなのができました。気づいたら行くことが当たり前になり、もうひとつの「なごみ」にも行くようになりました。(中略)そして、何か私自身がかわれたきがします。最後に一年間ありがとうございました。」

2人と入れ替わりに、3月から新しい利用者さんが3人加わり、4月からは新しいスタッフも加わりました。心機一転で活動しています。現在は、伊豆市生きいきプラザが一時閉所になっているため、会場を大仁公民館に変更するなど万全な感染予防をして実施しています。

東日本大震災被災者支援事業 OHANA

東日本大震災被災者支援活動 OHANA の懇親旅行が 3 月 15 日に予定されていました。 今回の企画は西伊豆堂ヶ島の「洞くつ巡りクルージング」で、7家族 21 人からのお申し込みがあったのですが、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点からやむなく開催中止といたしました。参加希望の皆様からは、ぜひまた企画してほしい、とのお声も頂いています。 一日も早い収束を望んでいます。

